

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）
分担研究報告書

血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者に対する肝移植を含めた外科治療に関する研究

研究分担者 藤田文彦

久留米大学医学部外科学講座 教授

研究要旨 HIV/HCV 重複感染者、血友病患者における肝胆膵外科・肝移植ガイドを作成することとなり、その分担者として担当することとなった。担当する箇所は「各論」部分における「一般外科」である。消化管外科および鼠径ヘルニア手術などにおける注意事項をまとめた。

- A. 研究目的 染者と同等であることも追記した。
これまで、血友病患者に対する肝胆膵外科治療に関するガイドラインは存在しない。そこで、一般手術も含めたベストプラクティスやハンドブックを作成することとなった。
- B. 研究方法 各専門分野に分かれて担当しガイドを作成することとした。項目としては総論と各論に分けて担当する。周術期管理を含めて診療ガイドとしてまとめる。各分野で検討したものをZOOMを用いた会議で報告し、相互で確認を行う。
- C. 研究結果 各論領域の一般外科を担当した。内容としては消化管手術および鼠径ヘルニアなどの手術に関するものとなった。血友病患者に対する一般外科手術のエビデンスは確立されていないが、これまでの報告例を参考として作成した。周術期管理に関する具体的な注意項目などを列挙した。また、コントロールされているHIV感染者に対する一般手術の成績は非感
- D. 考察 血友病患者に対する一般手術においては術前の血液凝固因子の十分な補充により手術成績は遜色がなく、手術適応を制限するものではないと思われる。また、術後出血などは起こりうる合併症であるため、緊急的な検査は躊躇すべきではないと思われる。
- E. 結論 重複感染における血友病患者に対する一般手術は、周術期の管理を行うことで手術適応の制限にはならない。
- F. 健康危険情報 該当なし
- G. 研究発表 該当なし
- H. 知的財産権の出願・登録状況 該当なし